



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和5年 3月号

ヨハネスブルグ日本人学校

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校を目指して 令和4年度の教育活動へのご理解・ご協力、ありがとうございました!

樹々の葉も日ごとに赤や黄色に彩りを増しています。保護者及び日本人会の皆様には日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

先月実施しました EC 発表会には大変お忙しいなか、多くの方々に子ども達の頑張る姿、輝く姿をご覧いただきました。子ども達の確実な成長を実感することは、教師も同じで共に喜びたいと思います。



1年間を振り返りますと、一番良かったと思えることは、ヨハネスブルグ日本人学校の学校行事が全て予定通り実施できたこと、運動会や学習発表会などの大きな行事や6回の国際交流も全て実施できたことです。コロナ禍とよく言われるこの約3年間は、運動会や学習発表会などの行事は中止、または縮小、そしてせっかくの機会なのに、保護者の方々やお客様をお招きできない時期が続きました。

令和4年度は、その時期を乗り越え、様々な計画、準備、本番、そして振り返りを通して、一人一人の自分自身の成長、お互いの成長を多くの機会を感じ、認め合うことができました。



以下は、修了式の際に、子供たちに紹介した「たった一言」という詩です。

お互いの関係づくりの中で、相手を思う行動や言葉、それもたった一言で「ありがとう」とお互いが感じる事ができた事がたくさんあったと感じています。

「その一言で……」の後に続く言葉は、人によりもっとたくさんあるでしょう。人と人が互いにわかり合おうとする時、互いにきちんと向き合い心を込めて伝える言葉が、その架け橋となります。言葉は、人間を奮い立たせもするし力を奪いもします。言葉のもつ重みを考え、互いの心の深い部分で触れ合えるような人間関係を築いていくことが、とても大切であることに気付いてもらえたらと思います。

ヨハネスブルグ日本人学校は、また、次年度令和5年度は、4月12日から始まります。上級学校や他の学校への進学や日本への帰国となる子供たちも数名いますが、それぞれが進学する学校での活躍をみんなで期待しています。

どうぞ、1年間のご協力及びご理解に心から感謝いたします。

これからもヨハネスブルグ日本人学校を宜しくお願いいたします。

その一言
その一言で、励まされ
その一言で、夢を持ち
その一言で、腹が立ち
その一言で、がっかりし
その一言で、泣かされる
ほんのわずかな一言が
不思議に大きな力を持つ
ほんのちょっとの一言で
[高橋系吾著]

令和4年度「卒業証書授与式」、「修了式」、無事に終了しました。

「卒業証書授与式」からの一コマ



式後に小学部3名 中学部2名で記念撮影

「修了式」からの一コマ



第4学年3名の修了証を受け取りの様子